

第3章 避難に関するアンケート結果

調査の概要

1 調査の目的

令和元年10月12日から13日にかけて発生した令和元年東日本台風は、本町においても多数の浸水家屋等が発生するなど大きな被害をもたらした。

本アンケートでは、この令和元年東日本台風の接近時に避難者が避難のきっかけとなった情報入手先や、避難されてどのように感じたか等の当日の避難行動の実態を把握し、今後の情報伝達や避難所の運営等にかかる検討の参考資料とすることを目的としている。

2 調査の方法及び回答率

調査の対象者、実施時期、有効回答率などは以下のとおりである。

対象者	令和元年東日本台風の接近に伴い避難所へ避難をされた方
有効発送数 (郵送戻・発送時転出等除く)	813件
実施時期	令和元年12月～令和2年1月
有効回答数	342件
有効回答率	42.1%

※避難者の総数は2,636人であったが、アンケートの発送は避難所の受付にて住所を記載した方とし、1世帯につき1件とした。

3 その他

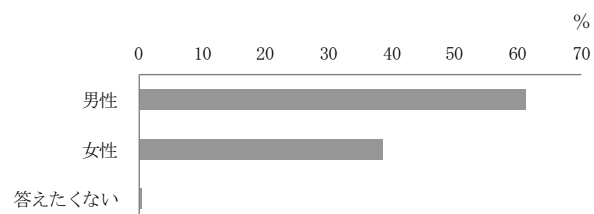
比率はすべて百分率(%)で表し、少数点以下2位を四捨五入して算出した。このため、合計が100%に満たない場合や超える場合がある。

また、回答が複数回答となる質問は、1人の回答者が2つ以上の回答をしてもよい質問である。このため、回答数が有効回答数を超える場合がある。

アンケート集計結果

問1 あなたの性別を教えてください。(〇は1つ)

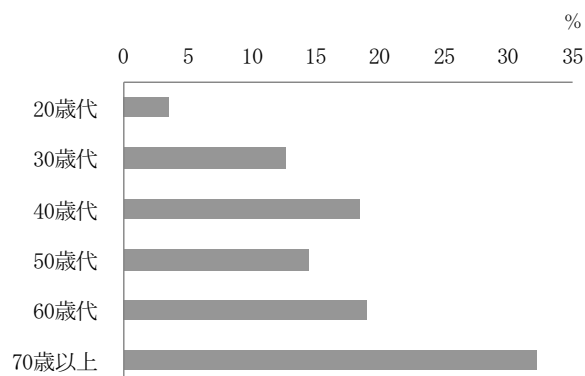
	回答数	構成比(%)
男性	209	61.1
女性	132	38.6
答えたくない	1	0.3
計	342	100.0



性別については、「男性」が61.1%、「女性」が38.6%となっている。

問2 あなたの年代を教えてください。(〇は1つ)

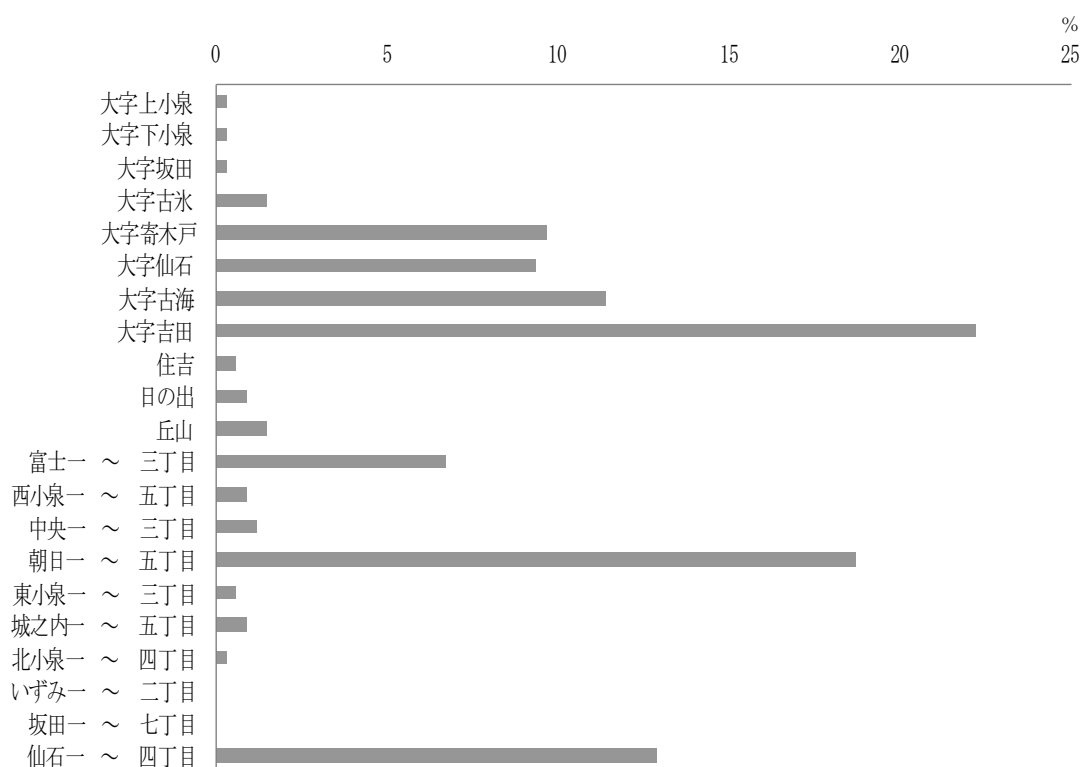
	回答数	構成比(%)
20歳代	12	3.5
30歳代	43	12.6
40歳代	63	18.4
50歳代	49	14.3
60歳代	65	19.0
70歳以上	110	32.2
計	342	100.0



年代については、「70歳以上」が32.2%と最も多く、次いで「60歳代」が19.0%、「40歳代」が18.4%などとなっている。

問3 あなたのお住まいはどこですか。(〇は1つ)

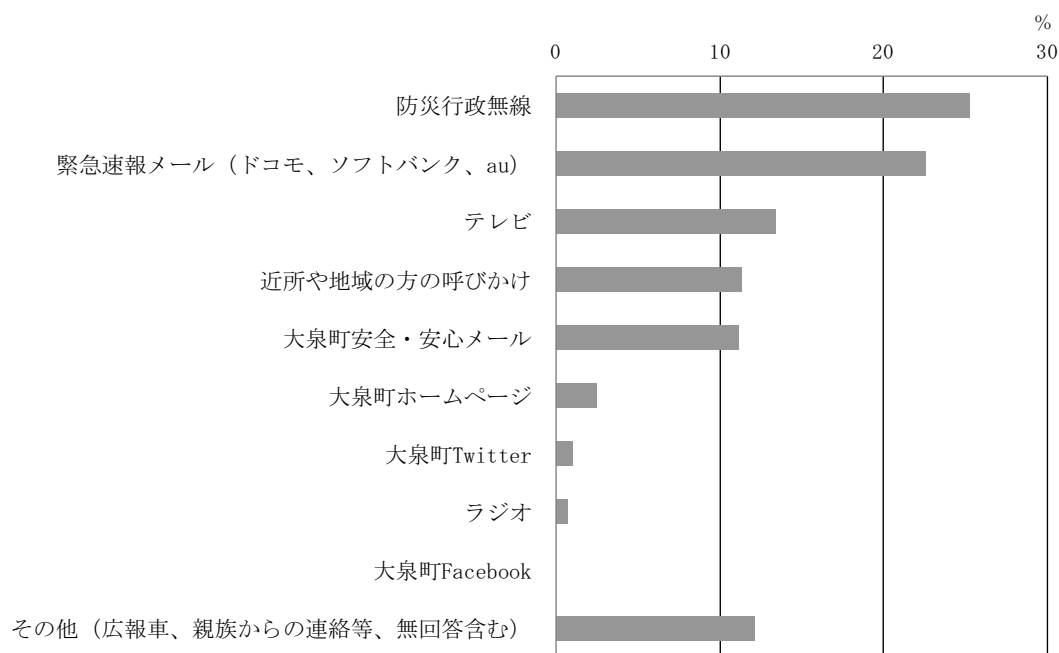
	回答数	構成比(%)		回答数	構成比(%)
大字上小泉	1	0.3	富士一～三丁目	23	6.7
大字下小泉	1	0.3	西小泉一～五丁目	3	0.9
大字坂田	1	0.3	中央一～三丁目	4	1.2
大字古氷	5	1.5	朝日一～五丁目	64	18.7
大字寄木戸	33	9.6	東小泉一～三丁目	2	0.6
大字仙石	32	9.4	城之内一～五丁目	3	0.9
大字古海	39	11.4	北小泉一～四丁目	1	0.3
大字吉田	76	22.2	いずみ一～二丁目	0	0.0
住吉	2	0.6	坂田一～七丁目	0	0.0
日の出	3	0.9	仙石一～四丁目	44	12.9
丘山	5	1.5	計	342	100.0



お住まいの地区については、「大字吉田」が22.2%と最も多く、次いで「朝日一～五丁目」が18.7%、「仙石一～四丁目」が12.9%などとなっている。

問4 避難のきっかけになったものは何ですか。(〇はいくつでも)

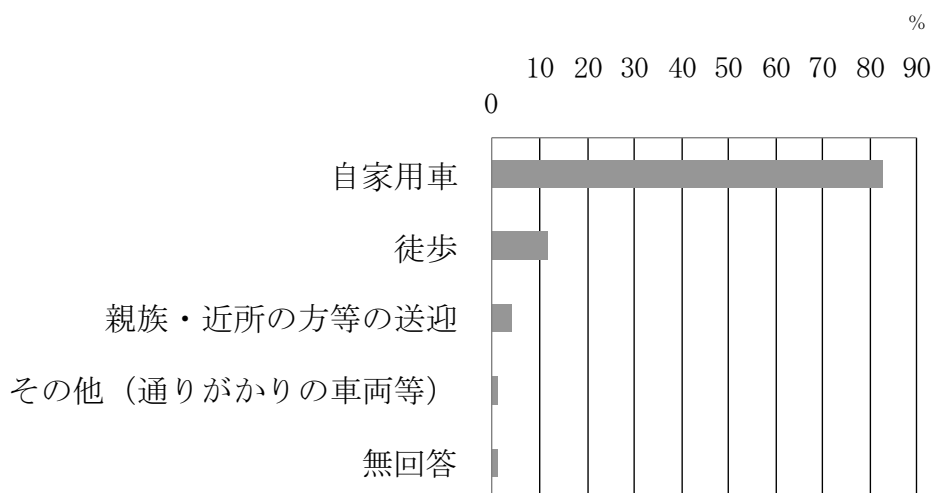
	回答数	構成比 (%)
防災行政無線	154	25.2
緊急速報メール(ドコモ、ソフトバンク、au)	138	22.6
テレビ	82	13.4
近所や地域の方の呼びかけ	69	11.3
大泉町安全・安心メール	68	11.1
大泉町ホームページ	15	2.5
大泉町Twitter	6	1.0
ラジオ	4	0.7
大泉町Facebook	0	0.0
その他(広報車、親族からの連絡等、無回答含む)	74	12.1
計	610	100.0



避難のきっかけについては、「防災行政無線」が25.2%と最も多く、次いで「緊急速報メール」が22.6%、「テレビ」が13.4%などとなっている。

問5 避難所への移動手段は何ですか。 (自由意見)

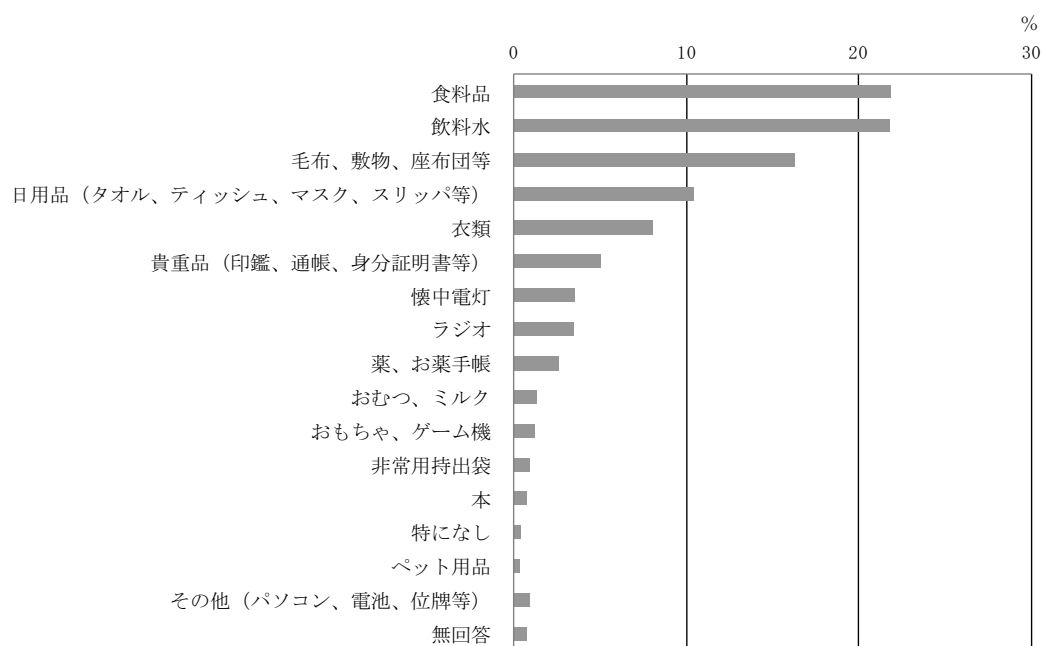
	回答数	構成比 (%)
自家用車	282	82.5
徒歩	40	11.7
親族・近所の方等の送迎	14	4.1
その他 (通りがかりの車両等)	3	0.9
無回答	3	0.9
計	342	100.0



避難所への移動手段については、「自家用車」が82.5%と最も多く、次いで「徒歩」が11.7%などとなっている。

問6 避難所へは何を持って行きましたか。(自由意見)

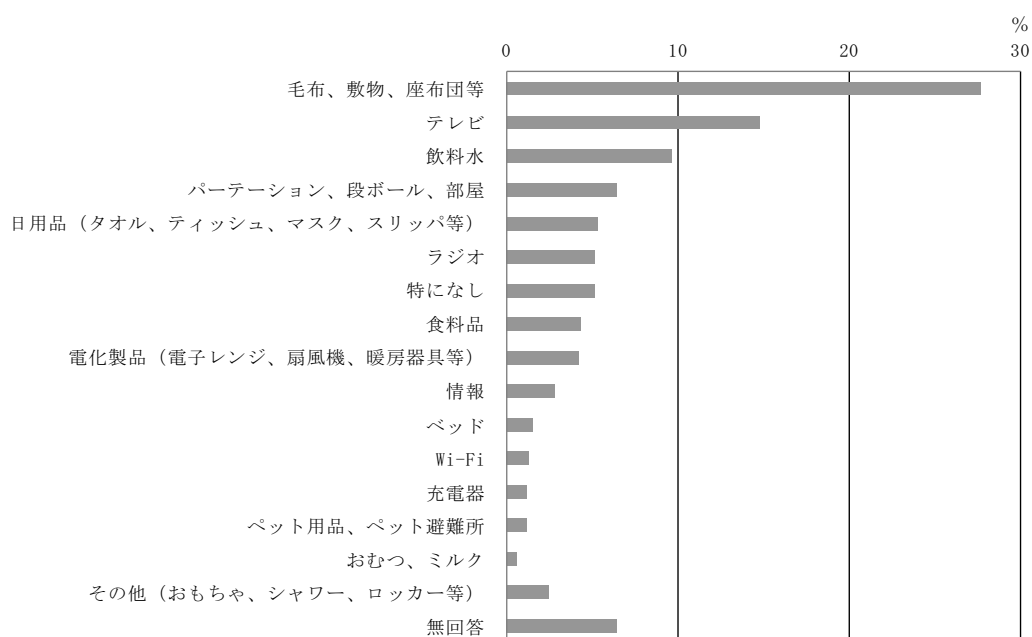
	回答数	構成比 (%)
食料品	244	21.9
飲料水	243	21.8
毛布、敷物、座布団等	181	16.2
日用品 (タオル、ティッシュ、マスク、スリッパ等)	117	10.5
衣類	90	8.1
貴重品 (印鑑、通帳、身分証明書等)	56	5.0
懐中電灯	40	3.6
ラジオ	39	3.5
薬、お薬手帳	29	2.6
おむつ、ミルク	15	1.3
おもちゃ、ゲーム機	14	1.3
非常用持出袋	11	1.0
本	8	0.7
特になし	5	0.4
ペット用品	4	0.4
その他 (パソコン、電池、位牌等)	11	1.0
無回答	8	0.7
計	1,115	100.0



避難所への持ち物については、「食料品」が21.9%と最も多く、次いで「飲料水」が21.8%、「毛布、敷物、座布団等」が16.2%などとなっている。

問7 避難所にあつたら良かったと思ったものは何ですか。 (自由意見)

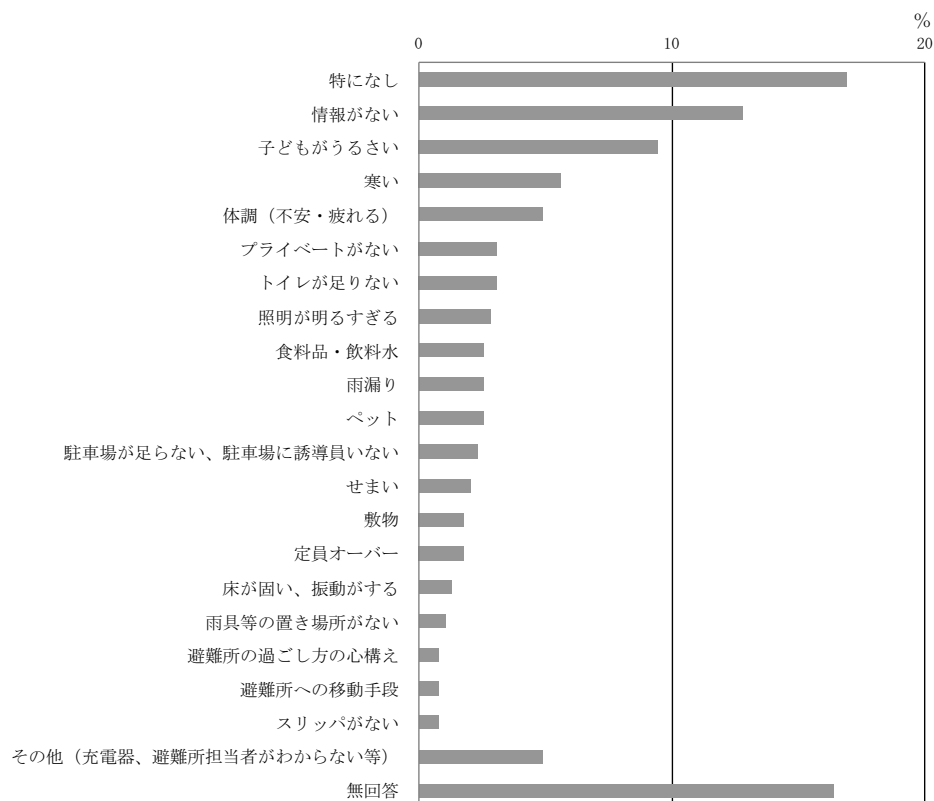
	回答数	構成比 (%)
毛布、敷物、座布団等	146	27.7
テレビ	78	14.8
飲料水	51	9.7
パーテーション、段ボール、部屋	34	6.4
日用品 (タオル、ティッシュ、マスク、スリッパ等)	28	5.3
ラジオ	27	5.1
特になし	27	5.1
食料品	23	4.4
電化製品 (電子レンジ、扇風機、暖房器具等)	22	4.2
情報	15	2.8
ベッド	8	1.5
Wi-Fi	7	1.3
充電器	6	1.1
ペット用品、ペット避難所	6	1.1
おむつ、ミルク	3	0.6
その他 (おもちゃ、シャワー、ロッカー等)	13	2.5
無回答	34	6.4
計	528	100.0



避難所にあつたら良かった物については、「毛布、敷物、座布団等」が27.7%と最も多く、次いで「テレビ」が14.8%、「飲料水」が9.7%などとなっている。

問 8 避難所で困った点があれば教えてください。(自由意見)

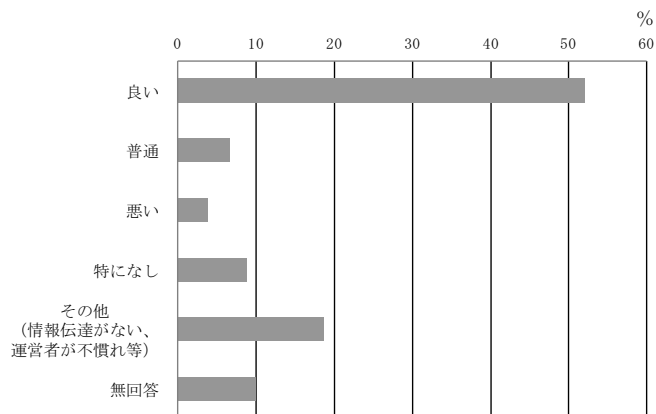
	回答数	構成比 (%)
特になし	66	16.9
情報がない	50	12.8
子どもがうるさい	37	9.5
寒い	22	5.6
体調(不安・疲れる)	19	4.9
プライベートがない	12	3.1
トイレが足りない	12	3.1
照明が明るすぎる	11	2.8
食料品、飲料水	10	2.6
雨漏り	10	2.6
ペット	10	2.6
駐車場が足りない、駐車場に誘導員いない	9	2.3
せまい	8	2.0
敷物	7	1.8
定員オーバー	7	1.8
床が固い、振動がする	5	1.3
雨具等の置き場所がない	4	1.0
避難所の過ごし方の心構え	3	0.8
避難所への移動手段	3	0.8
スリッパがない	3	0.8
その他(充電器、避難所担当者がわからない等)	19	4.9
無回答	64	16.4
計	391	100.0



避難所で困った点については、「特になし」が16.9%と最も多く、次いで「無回答」が16.4%、「情報がない」が12.8%などとなっている。

問 9 避難所での運営者側の対応について、どのように感じましたか。(自由意見)

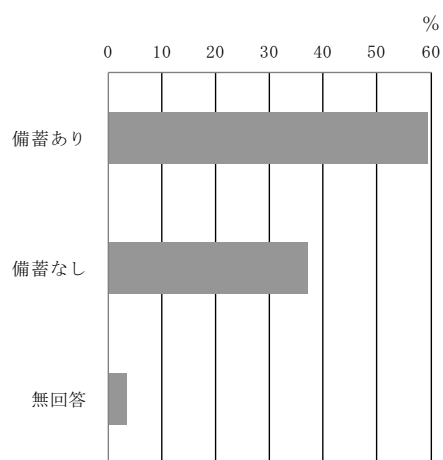
	回答数	構成比(%)
良い	178	52.0
普通	23	6.7
悪い	13	3.8
特になし	30	8.8
その他 (情報伝達がない、 運営者が不慣れ等)	64	18.7
無回答	34	9.9
計	342	100.0



避難所での運営者側の対応については、「良い」が52.0%と最も多く、次いで「その他（情報伝達がない、運営者が不慣れ）」が18.7%などとなっている。

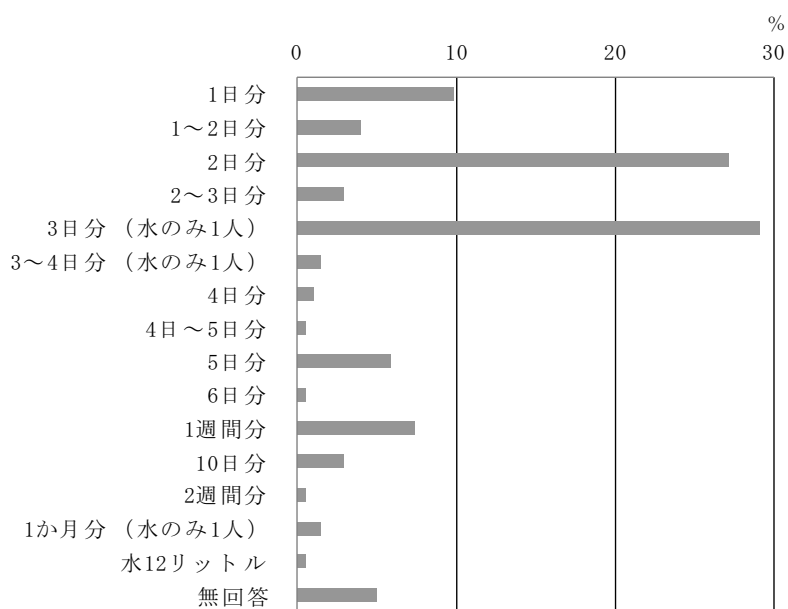
問 10 普段から、飲料水や食料品の備蓄をしていますか。(〇は1つ)

	回答数	構成比(%)
備蓄あり	203	59.4
備蓄なし	127	37.1
無回答	12	3.5
計	342	100.0



備蓄をしていると答えた方、備蓄は何日分程度ですか。

	回答数	構成比(%)
1日分	20	9.9
1～2日分	8	3.9
2日分	55	27.1
2～3日分	6	3.0
3日分 (水のみ1人)	59	29.1
3～4日分 (水のみ1人)	3	1.5
4日分	2	1.0
4日～5日分	1	0.5
5日分	12	5.9
6日分	1	0.5
1週間分	15	7.4
10日分	6	3.0
2週間分	1	0.5
1か月分 (水のみ1人)	3	1.5
水12リットル	1	0.5
無回答	10	4.9
計	203	100.0

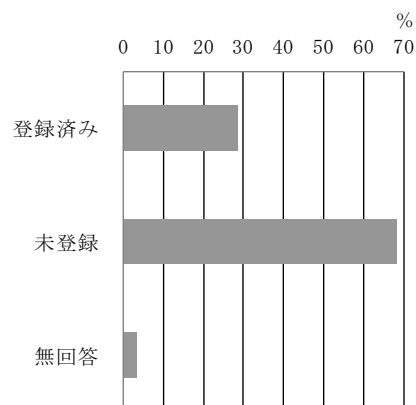


飲料水や食料品の備蓄の有無については、「備蓄あり」が59.4%と最も多く、次いで「備蓄なし」が37.1%などとなっている。

備蓄をしていると答えた方で備蓄している日数は、「3日分」が29.1%と最も多く、次いで「2日分」が27.1%などとなっている。

問 1 1 町では、気象警報発令や、不審者、火災などの情報を携帯電話などへ配信する「大泉町安全・安心メール」を運用しています。
大泉町安全・安心メールのご登録はされていますか。(○は1つ)

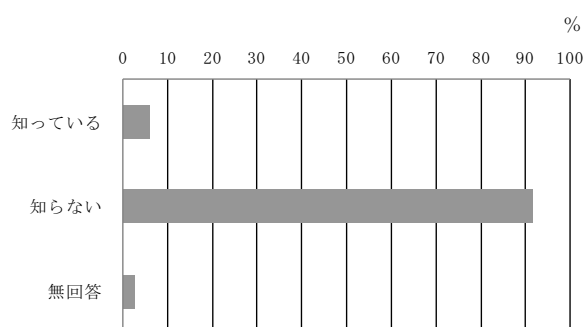
	回答数	構成比(%)
登録済み	98	28.7
未登録	233	68.1
無回答	11	3.2
計	342	100.0



大泉町安全・安心メールの登録の有無については、「未登録」が68.1%と最も多く、次いで「登録済み」が28.7%となっている。

問 1 2 町では、防災行政無線の放送が聞こえなかった場合に、無料で内容を確認できるテレホンサービス(0120-313-141)を運用しています。
テレホンサービスを知っていますか。(○は1つ)

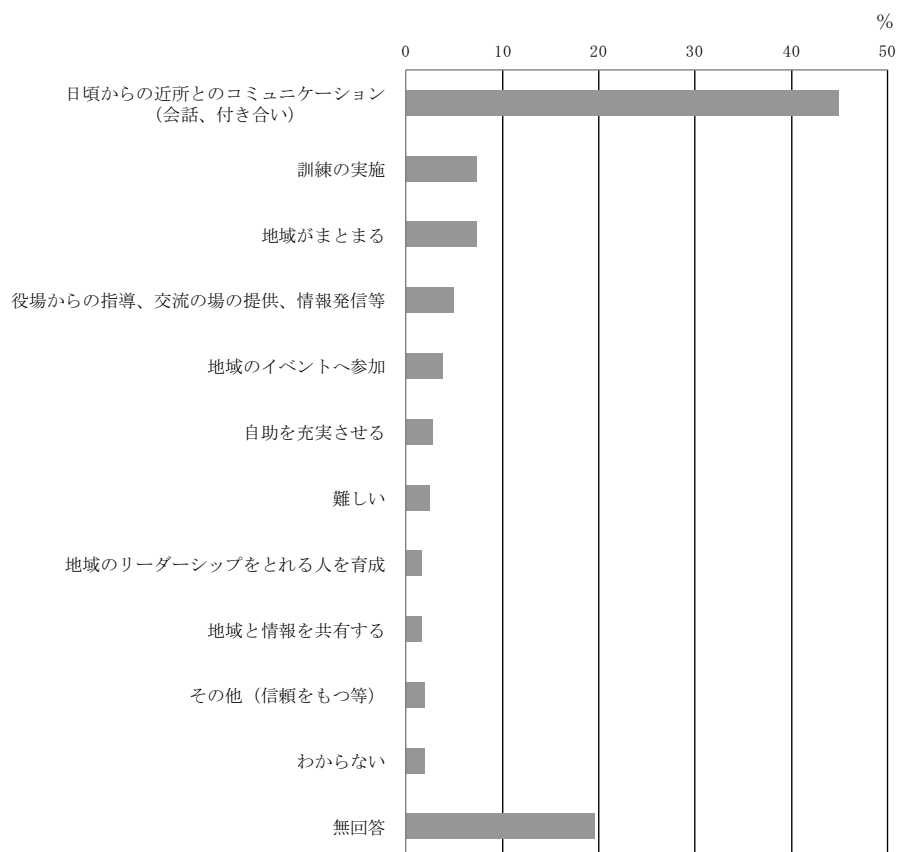
	回答数	構成比(%)
知っている	20	5.8
知らない	313	91.5
無回答	9	2.6
計	342	100.0



防災行政無線のテレホンサービスについては、「知らない」が91.5%と最も多く、次いで「知っている」が5.8%となっている。

問 1 3 大規模災害時には、共助（近隣との助け合い）が大切ですが、共助を根付かせるには、何が重要だと思いますか。（自由意見）

	回答数	構成比 (%)
日頃からの近所とのコミュニケーション (会話、付き合い)	165	44.8
訓練の実施	27	7.3
地域がまとまる	27	7.3
役場からの指導、交流の場の提供、情報発信	18	4.9
地域のイベントへ参加	14	3.8
自助を充実させる	10	2.7
難しい	9	2.4
地域のリーダーシップをとれる人を育成	6	1.6
地域と情報を共有する	6	1.6
その他（信頼をもつ等）	7	1.9
わからない	7	1.9
無回答	72	19.6
計	368	100.0



共助を根付かせるには、「日頃からの近所とのコミュニケーション (会話、付き合い)」が 44.8%と最も多く、次いで「無回答」が 19.6%などとなっている。